いかなければ、『またいつか』になってしまいます。みんなで



No.**2**'





なくなりました。ところがある日「お父さん肩車して」と言っ №「今 伝えたいこと」 近頃、寂しいことに小学校6年生の娘との会話がめっきり少

驚きながらも「ええよ」と言いしゃがみました。どうやら運

るに決まっています。最後だと思えばもっとしっかりと支えた ・欲しいとは言わないでしょうし、私が誘っても気持ち悪がられ く誇らしそうに友達と演技をしている姿を嬉しく思いました た言いんさい」と言って降ろしました。 をしました。私は「運動会まであと1週間あるからいつでもま と感じました。しかしヨロヨロしながらも立ち上がり一度練習 りと体重がかかりました。声には出しませんでしたが「重い」 連盟の活動を通して仏様のみ教えと命の尊さを伝えています。 しかし、これが最後となる時が必ずやってきます。我々は少年 活の中にたくさんあります。これが最後とは思えないのです。 ているのにいつまでも幼いイメージがありました。いつの間に 超え体重も40㎏近くになっていると聞かされました。毎日、 のに…そんな気持ちになりました。後日、妻から身長は15㎝を 最後の日だったのだと思ったからです。もう2度と肩車をして が、その反面少し寂しくもありました。あの日が娘を肩車した かもう6年生…私の方が成長していないなと思いました。 しかし、その後、声はかかりませんでした。当日、怪我もな いつでもできるとか、またできると思っている事は日常の生 見



片山京子 先生

2 日目の研修では、山口県聴覚障害者情報センターの片山京子先生より『手話と出会って』 と題したお話を聞きました。

その後、3グループに分かれて、手話を使った挨拶や、各自の名前の手話を教えていただきました。最後には自己紹介が出来るまでになりました。

手話は単語を合わせて会話をします。口の形や、空間や手のひらに文字を書いて伝える方法や、体を使って身振りや表情で伝える方法、仮名1文字ずつを指の形であらわす方法、最近ではノートテイクのパソコンを使用する方法など、沢山のコミュニケーションの方法があります。手話は聴覚障害者にとって会話する大切な手段です。

教えていただいた手話の挨拶などを活かし、機会があれば子ども達とも手話を使ったコミュニケーションにも挑戦していきたいです。

この度の研修会は、実技指導が存分にあり、子ども達に教えてあげやすく、良かったと思いました。来年は山陰教区担当で開催です。楽しみにしております。



真剣な表情の参加者

平成27年6月9日に前期指導 者学習会を本願寺広島別院「共 命ホール」で開催しました。

崇徳高校の卒業生でもある、マジシャンRYOさんを講師にお迎えし、子どもと一緒にできる簡単な手品を教えていただきました。

トランプを使い相手が引いた カードを当てる手品や、3つの紙 コップのどこか1つにサイコロを入れ て、相手がどこにサイコロを入れたの かを当てる手品など、数種類の手品を 学びました。

手品を学んだ後は、RYOさんによる手品を間近で見せていただくことができました。



参加者は簡単な手品ができるようになりました





右 RYO りょうさん



2015 (平成27) 年度

ロック少年連盟 指導者研修会 四国フ

平成27年6月<mark>24日~25日に</mark>山口教区の担当により、本願寺山口別院を会場として、「中・四国ブロック 少年連盟 指導者研修会 が行われました。

中・四国の5教区(山陰・備後・安芸・山口・四州)より63名の参加があり、安芸教区からは10名参加 させていただきました。研修・懇親会ともに参加者の熱意で盛り上がる2日間となりました。



中島宏 先生

1 日目の研修会では、ご講師に九州遊びの研究所所長 中島宏先生をお迎えして、『新発見! お寺でレクリエーション』をテーマにご講演いただきました。

まず印象的なのが中島先生の笑顔でした。そして、先生のお話では、子ども達に楽しんで帰っ てもらいたい、「また来てみたいな」と思ってほしいとの気持ちを随所で感じる事が出来ました。 いくつか紹介された遊びの中から、重りに「沈め」と願えば沈み、「浮かべ」と願えば浮くマジッ クの「浮沈子」をレポートします。 タイトルの通り、浮いたり、沈んだりする重りですが、仕組 みがわかるまで「何で?何で?」と不思議。

仕組みは、ペットボトルを押すと、ペットボトルの空気と同じように梱包材の中に残っている 空気も押されて、体積が小さくなる。空気の割合が少なくなると、今まで浮沈子を浮かせようと していた力(浮力)も小さくなって沈む。反対に、緩めると体積が元に戻り、浮力が大きくなり浮く。 梱包材が浮沈する仕組みを利用した遊びです。

作り方は、炭酸系のジュースが入っていたペットボトル(握りやすい為)と、釣りで使う鉛の重りと、衝撃を和らげる為に よく使われる梱包材とハサミを用意します。必要なものはこれだけ。

- 1、ペットボトルに水を入れる
 - (キャップを外し少し握ると水が溢れる位の量)
- 2、水に浮く梱包材に釣り用の重りを付ける。梱包材は魚の形にカットし色を塗っ たら面白いと思います。(※ペットボトルに入れる前に重りを付けた梱包材が 水面から4分の1くらい出るように確認してください。)
 - ※鉛の重りはペンチで挟んで梱包材に取り付けます。口に入れないよう注意し てください。
- 3、水の入ったペットボトルの中に作成した重りがついた梱包材を入れ、キャップ で蓋をすれば完成です。
- 4、完成した浮沈子マジックを使い、実際に皆を驚かせて遊んでみましょう。

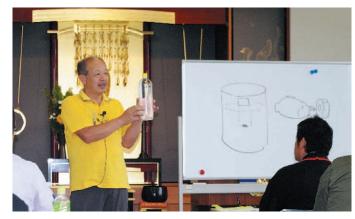


梱包材と釣り用の重り

早速、子ども会で今回教わった「浮沈子マジック」を子ども達に披露したところ、「何で?何で?凄い!」と不思議がり身

を乗り出していました。それからタネあかしをして、実際に 子ども達と「浮沈子」を作ってみました。魚の形や妖怪の一 反木綿など、いろいろな形の浮沈子を作り、楽しい時間を過 ごしました。子ども達は作ったものを持ち帰りましたので、 家族の前で得意げにマジックを披露した事と思います。

中島先生はこれらの遊びを通して、一人で寂しく作ってい る子は居ないか、皆で助け合っているか、完成した後には皆 で楽しく遊べているのかなど、指導者には全体を見ていてほ しいと言われました。レクリエーションとは、誰もが楽しい ものである、皆で出来ることが大切であると理解させていた だきました。





昨年度の後期指導者学習会でお話をお伺いした、安楽寺ときわ子供会(広陵東組・安楽寺・ 登世岡浩雄住職)を訪問しました。ときわ子ども会は毎月2回、土曜日の午後2時から本堂で開 催されています。インターネットの紹介ページには、(1)優しい心が育つ仏さまのお話、(2)ゆ かいな昔話、(3) 楽しい集団ゲーム、と紹介があります。

午後2時頃になると子ども達がお寺に集まってきて、登世岡先生と子ども達一人ひとりがお話 をしながら、約30分かけ、全員が出席ノートにシールを貼り終えました。その間、子ども達は楽 しそうに自由に遊び回っていました。

子ども会が始まると、騒いでいた子ども達も静かに正座をして、阿弥陀様の方を向いて座りま す。お当番の開扉で仏参が始まります。仏参の法話に続いて、昔話の語り聞かせです。今回のお 話は「間のいい猟師」というお話でした。子どもたちは話が進むにつれ、話の内容と、先生の身 振り手振りを交えたお話に引き込まれていき、みんなで大爆笑をしながらお話を聞きました。

続いて集団ゲームがありました。笛の数で人数を集めていく「ナンバーコール」を交えながら、 テンポよく3種類のゲームが行われました。

学習会では「今いる子ども達にこの場をよろこんでもらいたい」とお話をされましたが、参加 している子ども達は、自由遊びの時間、仏参、昔話、集団ゲームのどの時間もとても楽しそうに していました。また何よりも登世岡先生自身がとても楽しんでおられる様子が伝わってきました。 子ども達が喜ぶキーワードをタイミングよく入れて、身振り手振りを交えて、楽しそうにお話を される様子、子ども達がびっくりしたり、爆笑できる言葉を交えながらゲームをされる様子、終 始いろいろな工夫が見られました。受付時には先生が一人ひとりに「久しぶりだね」とか「よく 来たね」という声掛けをされ、仏参の時には新しく来た子の紹介を優しくされている様子など、 一人ひとりへの気配りをとても大切にされていました。



受付で一人ひとりに声掛けをされます



お当番の開扉で始まります



身振りと手振りを交えた昔話の語り聞かせ

子ども会の様子や法話・昔話の内容など、インターネットに詳しく掲載されています。 https://www.facebook.com/tokiwa.dharma.school

集団ゲームのご紹介

罗尔一派沙

天狗の鼻が移動する手遊びゲーム。 両手で天狗の鼻を作ります。

「ウォ~~・ポン!」の掛け声で、 先生と子ども達が天狗の鼻を移動さ せます。鼻・あご・右のほっぺた・ 左のほっぺた・おでこ。先生と同じ 場所に天狗の鼻がきたら負け。



杂国と杂双目

2人組になり、一人がネコ、一人がネズミになります。向き合って 正座で座り、左手をお互い相手の足のももの上に置きます。先生が 「ネ・ネ・ネ・ネ」「ネコ」と言ったら、ネコの人は相手の手を叩き ます。うまく手を叩けたら成功。相手が速く手を引けば、自分の足 を叩くことになります。「ネ・ネ・ネ・ネ」の後に「ネコ」「ネズミ」 だけでなく、「ねんど」や「ねーねーお母さん」などのひっかけの 言葉を入れると楽しめます。

テシバーヨール

笛を吹いた数で集まります。笛を3回 吹いたら3人で集まる。必ず人数が集



うらめしや番町皿屋敷

5人組で輪になり、中心で手を重ねます(手と手が触れない ように)。先生が皿を「1ま~い」「2ま~い」と数えていき ます。「1ま~い」と言うと一番下の人は手を一番上に持っ ていきます。「2ま~い」と言うと、また一番下の人は手を 一番上に持っていきます。先生が「うらめしや~」と言うと 一番上に手がある人が、下の人の手を叩きます。うまく叩け たら成功。他の人が速く手を引くと失敗。「うらめしや~」 の言葉を「うらやましい」や「占い師」などに替えてひっか けると面白いです。



14:00 集合・受付・自由遊び

14:30

1. 開扉

2. 仏参

- (1) らいはいのうた
- (2) ちかいのことば
- (3) 3つのやくそく
- (4) 食事のことば (食前のことば・食後のことば)
- 3. 法話
- 4. 昔話の語り聞かせ

「間のいい猟師」

- 5. 閉扉
- 6. 集団ゲーム
 - (1) ウォーポン
 - (2) ナンバーコール
 - (3) ネコとネズミ
 - (4) うらめしや番町皿屋敷
- 7. 恩徳讃斉唱
- 8. お菓子を頂く
- 15:45 終了・随時解散